

期間中の土・日・祝日には会館二階に特設写真スタジオを設け、記念写真を撮っていただけるよう設備しています。また、お宮参りにもご連絡頂ければスタジオを設備いたしております。

整備事業マンション地鎮祭齋行

二十九日、兵庫区浜中町一丁目で約四十名参列のもと、浜山第六地区優良建築物等整備事業の、エクセル御崎公園ディアフィールド起工地鎮祭が斎行された。

建物は鉄筋コンクリート造十階建て、一店舗付の五十八世帯入居する



地鎮祭での切麻清祓の儀

共同住宅で、当日は設計監理の(株)瀬戸本淳建築研究室社長が蒞始の儀、事業主である(株)岡三地所の岡社長が穿初の儀、施工者である岡・今津特別共同企業体の岡・今津両社長が入れの儀を厳かに執り行なった後、地権者や来賓の神戸市都市計画総局・近隣自治会・コンサルタント等の各代表が玉串拝礼して平成二十一年三月迄の工事期間中の無事故・無災害と早期完売も併せ祈願した。

平成二十年一月

年頭氏子崇敬者繁栄祈願祭齋行

正月三日、第二十六回目となる「氏子崇敬者繁栄祈願祭」が平野昌司市会議員を始め総代・氏子崇敬者二十七名の参列のもと厳かに斎行され、今年一年の各位の安全と繁栄を祈願した。

本年の神前奉納は、関西日印文化協会員であり、大阪「本町」にてインド古典舞踊、ヨガ教室のほかフリースペース「マルガニユティ」を運営しつつ、日印文化交流イベント「太古のひびき」の代表者である藤原真奈美先生によるインド舞踊が



ご神前でのインド舞踊

奉納された。

「インド古典舞踊・バラタナティヤムとは、南インド、タミルナードウ州発祥の古典舞踊です。インド四大古典舞踊のうち最古の伝統を誇っており、音楽と踊りの經典バラタの『ナティヤ・シャーストラ』に基づいています。寺院から発生した祈り、神話の踊りです。踊り手は寺院に直屬し、神の召し使い『デーヴァダーシー』と呼ばれていました。

現在の形は十九世紀の初め頃、基本形式や技法、演出等は多くを止めつつ舞台芸術として整えられたものです。足首にたくさんの鈴を付け、歯切れの良いステップを大地に響か

せながら目、眉、指先(ムドラ)を繊細に動かし、華やかさも加え、エネルギーにダイナミックに感情や物事を表現します。

インドも日本と同じく多神教で、自然崇拝から土着信仰が元になっています。大宇宙大自然の万物への感謝と祈りの気持ちで太古から育まれてきたこの舞踊で表します。」

という説明があった後、インド古典舞踊二曲が披露され、参列者も初め



鳥居前での記念写真